

第4学年社会科学学習指導案

平成16年10月5日(火)第1校時

4年2組(男子14名,女子17名,31名)

指導者 高木健司

- 1 単元名 きょうどにつたわるねがい
3 昔の暮らし

2 単元について

(1) 児童の実態

子供たちは、これまでに身近な地域で行われているごみの処理や水の確保について、家庭や学校での調査や聞き取り、浄水場やクリーンセンターの見学活動を通して学んできている。

地域の開発に尽くした先人の働きについて調べる学習では、岩手県初の公選知事で、二戸市出身の国分謙吉について学び、資料を集めたり、地域の方の話を聞いたりして学習を進めてきた。

自分たちが疑問に思ったことを課題として設定し、様々な方法で調べ、すすんで課題解決に臨もうとする子供たちである。また、施設を見学したり、インタビューしたりといった体験的な活動や、インターネットや各種資料を活用した情報収集活動にも意欲的に取り組む。

(2) 単元のあらまし

本単元は、学習指導要領の内容(5)を扱う。ここでの主な学習内容は、「地域の発展に尽くした先人の働きや、昔の道具とそれらを使っていたころの人々の生活、また、文化財や年中行事を具体的に調べて、地域の人々の生活が移り変わってきたことを学習する」ことである。

本単元の構成にあたっては、子供たちが実際に見学や調査ができるものを教材として取り上げて、昔の人々の暮らしの様子や、地域の生活を向上させるために努力した先人の様子を具体的に調べようとする際、調べたことを絵カードにまとめたり、年表に整理するなどして、今と昔の暮らしの違いを理解できるようにしたり、当時の人々の願いや思いについて考えさせたりすることが大切である。

(3) 指導にあたって

単元の導入では、地域に残る様々な道具に触れ、地域に住む人々の生活の移り変わりについて関心を持たせたい。また、単元のまとめまでの見通しを持って活動できるようにしたい。

調べる活動では、できるだけ子供たちが見たり触れたりできる物や、東北地方に伝わる民具(みの、つまごなどの防寒具)を資料として意図的に取り上げるようにしたい。また、二戸で生まれ育った地域の方に直接話を伺い、昔の人々の暮らしの様子や、昔から受け継がれている人々の知恵について理解させたい。

学び合いの場面では、調査や見学を通して考えたことをもとに、地域の昔の人々の工夫や努力、想いについて考えさせたい。

単元のまとめでは、資料を調べたり、地域の方から話を聞いたりしてわかったことを、絵カードや年表にまとめながら手作りの道具博物館を開設させ、地域の暮らしの変化の様子や地域の人々の願い

について理解を深めさせたい。

本単元における具体的な手だて

三つの手立て		具体的な取り組み
1	学習への意欲と見通しをもたせる導入の工夫 学ぶ対象とのダイナミックな出会い	・単元の導入で昔の道具を使った体験活動をさせ、昔の道具に対する興味・関心を高める。
2	学び合いを充実させるための工夫 学ぶ対象と深く関わる場の設定	・昔の道具に触れる体験活動の場や、地域の人の話を聞いたり、質問したりする場を設定する。 ・地域の民俗資料館を見学し、昔の道具についての話を聞いたり、道具の使い方を教えてもらったりして昔の人々の生活の様子を具体的に調べさせる。
	よりよい考えを練り上げていくための工夫	・確かめる段階で、提示された資料の見方を教えたり、学習のねらいに沿った観点を示したりして、課題について考えさせる。
3	振り返りの工夫 おさえておきたい基礎・基本の定着	・ふり返しカードでは、一単位時間でおさえておきたい事項の定着状況を確認するための判断基準を明確にする。
	自己評価・相互評価の充実	・学習の成果を、ゲストティーチャーの話を聞いたりふり返しカードを活用したりして評価し、学習意欲を高める。

3 単元の目標

昔と今の道具の違いを通して、昔と今とでは人々のくらしの様子が変化してきていることを理解するとともに、現在の自分たちの生活の歴史的背景に関心をもつ。

昔の道具の様子や使い方を調べて、昔の人々の知恵や工夫に気づき、当時の人々が生活の向上を願ってきたことを考える。

4 評価規準

(1)「地域の人々の生活や地域の発展に尽くした先人の働き」の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用能力の 技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
地域の人々の生活の移り変わりに関心をもち意欲的に調べ、考えながら追求しようとしている。	調べたことをもとに、人々の生活の変化や過去の生活における人々の知恵を考え、適切に判断している。	古くから残る暮らしにかかわる道具の使い方や、それらを使っていたころの暮らしの様子を、郷土資料館などを見学したり地域の高齢者や父母から聞き取り調査したりして具体的に調べる。	古くから残る暮らしにかかわる道具を使っていたころの暮らしの様子がわかる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用能力の 技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
昔の道具の使い方や、当時の生活の様子を進んで調べようとする。	昔と今の道具の違いから昔と今の生活の違いや当時の人々の願いについて具体的に考えることができる。	道具調べを通してわかったことや、自分で考えたことを絵カードなどに工夫して表現することができる。	地域の人々のくらしが変化してきていることや人々がよりよいくらしを願ってきたことが理解できる。

5 指導計画（指導時数：10時間）

時	小単元	学習活動	評価規準
1	オリエンテーション	・ 昔の道具を見たり、道具に触れたりして、昔のくらしに対する関心をもつ。	（関）昔の生活で使われていた道具に触れて、昔のくらしについて関心をもち、すすんでそれらを調べる課題を作ろうとする。
2	昔の道具のひみつ	・ 昔の道具を使いながら、自分の調べてみたい課題を設定し、学習計画を立てる。	（思）地域の人々の生活の移り変わりについて問題意識をもち、学習の見通しをもつことができる。
3 4 5	博物館で調べる。	・ 歴史民俗資料館を見学し、昔のくらしで使われていた道具を見たり、道具に触れたりして、わかったことや考えたことまとめる。	（技）歴史民俗資料館を見学したり、地域の高齢者や父母から聞き取り調査をしたりして調べたことを工夫してまとめる。 （知）古くから残るくらしに関わる道具を使っていた頃の生活の様子がわかる。
6 7	おじいさんやおばあさん お父さんやお母さんが子どもころ	・ 地域の高齢者に話を聞いたり教えてもらったりして、昔の道具の使い方やその道具を使っていた頃のくらしの様子についてカードにまとめる。	
8 (本時)	くらべよう昔と今	・ 昔の道具と今の道具との違いについて調べ、昔の人々の工夫や努力について考える。	（思）昔と今の道具を比べて、道具にこめられた地域の人々の工夫や努力について考えることができる。

9 10	わたしたちの道具博物館を作ろう	・絵カードに，調べたり比べたりしてわかったことや考えたことを書いて整理し，人々のくらしと道具の移り変わりについての学習のまとめをする。	(知) 道具の移り変わりから，地域の人々の暮らしが変化してきたことや，人々がよりよい暮らしを願って工夫や努力を重ねてきたことがわかる。
---------	-----------------	---	---

6 本時の指導

(1) ねらい

昔と今の道具を比べて，道具にこめられた地域の人々の工夫や努力について考えることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教師の指導・支援	評 価 【手立ての評価】
つかむ 5	1 二戸地方の防寒具の移り変わりを実物によって確認する。 みの・わらてぶくろ・つまご 2 学習課題を確認する。 一斉読みし，確認する。	・昔の冬の防寒具を提示して，興味・関心を高める。	
	昔と今の冬の道具をくらべて，ちがいをを見つけよう。		
確かめる 20	3 学び合いをする。 班ごとに話し合う。 ・ 観点に沿って班で話し合う。 学級で話し合う。 ・ 班で話し合っただけのことを発表する。	・ 2つの道具を比べて，気づいたことをノートに記入させる。 ・ 相違点，工夫点の2つの観点を中心に考えさせる。 ・ 提示された資料の見方を教えたり，観点を示したりして考えさせる。	・ 昔の道具と今の道具を比べて気づいたことや考えたことをもとにして，地域の人々の工夫や努力について考えることができる。 (ノート・発言)
まとめる 5	4 学習のまとめをする。 昔と今の道具のちがいについてわかったことをまとめる。	・ 2つの道具の決定的な違いについて追及させる。	
	昔の道具には地域の人々のいろいろな工夫や努力がこめられている。		

ふりかえる	5	<p>ゲストティーチャーと出会い本時の学習を振り返る。</p> <p>二戸市在住の和山耕也さんの話を聞く。</p> <p>ふり返しカードで本時の学習を振り返る。</p> <p>本時の学習の感想を発表する。</p> <p>(振り返りの工夫)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 和山さんに昔の冬の道具の使い方や、冬の生活についての話をしてもらう。 本時の学習を、和山耕也さんの話をもとに本時の学習を振り返らせる。 ゲストティーチャーの話を聞いた後、担任は必要に応じて補足説明を行う。 「和山さんへのメッセージ」という視点を与える。 自分なりの感想が持てるように、書く視点を与える。 和山さんの想いに応えさせたい。 	<p>【ゲストティーチャーの話とふり返しカードの活用は、次時の学習意欲へとつながる振り返りであったか？】</p> <p>(ふり返しカード・感想)</p>
	6	次時の学習を確認する。		

(3) 具体の評価規準

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	Bに到達するための手立て
思考判断	昔の道具と今の道具を比べて気づいたことや考えたことをもとにして、地域の人々の工夫や努力、自分たちの生活との関連について考えることができる。	昔の道具と今の道具を比べて気づいたことや考えたことをもとにして、地域の人々の工夫や努力について考えることができる。	<p>学び合いの場面で、提示された資料の見方を教えたり、観点を示したりして考えさせる。</p> <p>ふり返る場面で、自分なりの感想が持てるように、書く視点を与える。</p>

7 板書計画

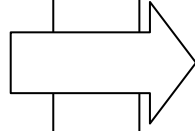
<p>学習か題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">昔と今の冬の道具をくらべて、そのちがいをを見つけよう。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">絵</div>	<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">昔の道具には地域の人々のいろいろな工夫や努力がこめられている。</div>										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ちがうところ くふうしていると思うところ </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">昔の冬の道具</th> <th style="width: 50%;">今の冬の道具</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みのぼっち</td> <td>ぼうし</td> </tr> <tr> <td>みの</td> <td>ジャンパー</td> </tr> <tr> <td>わら手ぶくろ</td> <td>手ぶくろ</td> </tr> <tr> <td>つまご・わらじ</td> <td>長ぐつ・くつ</td> </tr> </tbody> </table>		昔の冬の道具	今の冬の道具	みのぼっち	ぼうし	みの	ジャンパー	わら手ぶくろ	手ぶくろ	つまご・わらじ	長ぐつ・くつ
昔の冬の道具	今の冬の道具											
みのぼっち	ぼうし											
みの	ジャンパー											
わら手ぶくろ	手ぶくろ											
つまご・わらじ	長ぐつ・くつ											

4年社会科 振り返りカード 「きょうどにつたわるねがい」昔の暮らし

昔と今の冬の道具のちがいを書きましょう。

昔の冬の道具

今の冬の道具



今日の学習の感想かんそうを書きましょう。

和山耕也こうやさんにメッセージをどうぞ。